

砥石、植物性新素材で

高蔵工業など、寿命延ばす

砥石製造や販売を手掛ける高蔵工業(春日井市)はあいち産業科学技術総合センターと共同で、植物由来の新素材「セルロースナノファイバー(CNF)」を使った砥石を開発した。世界で初めて開発した。従来製品と比べて製品寿命を2019年度の販売額に比して約1.5倍に延ばすことを目指す。

命が延びるほか、仕上げ面も滑らかになるとい

ろ。2019年度の販売額を

目指す。CNFは、紙の原料になるパルプや植物繊維からつくるナノ(10億分の1)程度の繊維状の素材。新製品はCNFを研磨剤の粉である「砥粒」

などと混ぜてつくる。鉄鋼や自動車、造船に加えて、半導体など精密加工を必要とする業種での採用を目指している。